

■ 機 関 紹 介 ■

1. 組織概要

東北緑化環境保全(株)は、公害問題が社会問題として大きな高まりをみせていた昭和47年4月に、東北電力企業グループの一員として設立された。以来、発電所の安全・安定運転の確保および環境適合に寄与するため化学分析や環境調査、環境アセスメントや緑化維持管理等の事業を行うとともに、官公庁や民間企業に対しても積極的に事業を展開してきた。

当社は、東北7県（新潟を含む）および東京に支社、営業所があるが、当センターは平成7年に東北電力(株)仙台火力発電所構内より宮城県多賀城市に移転して現在に至っている。平成23年3月の東日本大震災では、地震および津波により甚大な被害をうけたものの、平成24年4月に施設の復旧工事が完了し業務を再開した。

2. 沿革

昭和49年	宮城県七ヶ浜町に分析センター開設
昭和51年	計量証明事業登録
昭和57年	作業環境測定機関登録
昭和63年	建築物空気環境測定業登録
平成7年	宮城県多賀城市に移転
平成15年	土壤汚染対策法の調査機関指定
平成16年	特定計量証明事業登録
平成17年	ISO 9001 認証取得
平成24年	建築物飲料水水質検査業登録（震災による失効後の再登録）
平成25年	ISO/IEC 17025 認定（認定範囲：食品、水質、底質、土壌中の放射能測定）

3. 業務内容

- ①特定計量証明事業
- ②計量証明事業（濃度、音圧レベル・振動加速度レベル）

- ③放射線（能）測定
- ④アスベスト分析
- ⑤作業環境測定（鉱物性粉じん・石綿（アスベスト）、有機溶剤、特定化学物質、金属類、騒音）
- ⑥室内空気環境測定
- ⑦各種有害物質測定・分析
- ⑧絶縁油 PCB・油中ガス分析
- ⑨素材の状態・構造解析
- ⑩火力発電所環境調査・化学分析

4. 作業環境測定の実施状況

当センターでは、東北7県（含・新潟）を中心に作業環境測定を行っており、平成29年度の測定実績として、延べ単位作業場数は601であった。分野別比率は、鉱物性粉じん・石綿10%、有機溶剤57%、特定化学物質20%、金属類12%、騒音1%であった。全社で、作業環境測定士（第1種34名、第2種17名）を有している。



東北緑化環境保全株式会社
環境分析センター

5. おわりに

今日、私どもを取り巻く環境は大きく変化している。めざましい技術の開発、新素材の発明等が豊かな生活を実現

する一方で、大気汚染、環境ホルモン等の化学物質による人の健康や生態系への影響が深刻化している。

まずは、環境の現状を正確に知ることが大切と考え、あらゆる分野におけるさまざまな物質の測定・分析を行うとともに、経営理念である「社会に貢献する会社」「信頼され選択されつづける会社」「自己実現を図れる会社」を目指して、お客さまニーズに応えるべく日々取り組んでいる。

<http://www.tohoku-aep.co.jp/>